

高齢者薬物治療認定薬剤師制度 処方提案症例レポート評価表

提出者氏名:

提出日 年 月 日

※症例レポートでは、認定基準に満たなくとも再提出はありませんが、ご自身で振り返りを行い、全ての項目が「3」(認定薬剤師に求めるレベル)以上となるように復習を行って下さい。				<input type="checkbox"/> 認定薬剤師 (年目) <input type="checkbox"/> 専門認定薬剤師 (年目)	
(参考)認定試験での処方提案レポート採点基準はこのレポート評価に基づき計算します。 認定試験: (到達レベルの数値の総和) × 2.5 ≥ 35(点) かつ「1」が無いこと 専門認定試験: (到達レベルの数値の総和) × 2.5 ≥ 45(点) かつ「1」「2」が無いこと				目指す薬剤師像	様々な要因が絡む高齢者の薬物治療における問題に対し、必要な情報を他職種と共有・評価を行い、患者個々の状況に応じたより良い薬物治療が提供できるよう、処方の再構築を検討し、処方提案により医師をサポートできる。
レポートNo.	No.1	No.2	No.3	達成レベル	科学的根拠に基づき処方の評価を行い、必要に応じて処方の再設計・提案を行うことができる。
1) 「処方の問題点を抽出するための根拠は妥当である。」 処方の問題点をは妥当であるか(アプローチの方向性は妥当か)				1 努力を要する	問題点を説明するために用いる情報選択の妥当性が低い。もしくはそもそも問題点が抽出できていない。 例) 情報収集または検討が不十分。 あるいは、問題抽出をしようとする努力が見られない。
				2 もう少し	問題を抽出しようとする努力はみられるが、問題点を説明するために用いる情報選択の妥当性が低い。または、他に取り上げるべき問題がある。 例) 情報収集は出来ているが検討が不十分。または、検討は妥当性をもって出来ているが、情報が不十分。
				3 認定薬剤師に求めるレベル	収集した情報と問題同定のための理論が妥当である。 例) 根拠となりうる様々な情報を収集し、それらを基に問題を同定しようと、努力がみられる。
				4 専門認定薬剤師に求めるレベル	抽出された問題点は妥当であり、自身が抽出した問題点に対して批判的(もしくは多面的)な考察が付け加えられている。 例) 問題点を抽出し特定するため、妥当性をもって根拠を明確に説明できている。
2) 「問題解決のため、根拠として用いた情報は適切である。」 問題を解決するために参照した情報は適切であるか(アセスメントに用いる、S-O以外の情報が対象)				1 努力を要する	質の低い情報を参照している。 例) 信頼性に欠ける情報を用いている。 若しくは、評価のための基準として参考にすべき情報(ガイドラインや文献、その他)を用いていない。
				2 もう少し	参照する情報の質は高いとは言えないが、それらを基に評価しようと努力はしている。 例) 評価のための基準として参考にすべき情報(ガイドラインや文献、その他)を用いようとする努力がみられる。
				3 認定薬剤師に求めるレベル	質の高い情報を参照し、批判的な吟味を行おうと努力がみられる。 例) 評価のための基準として参考にすべき情報(ガイドラインや文献、その他)を用いて評価しようと努力がみられる。
				4 専門認定薬剤師に求めるレベル	質の高い情報が複数参照され、高度な批判的な吟味が行われている。 例) 信頼性に足る客観的評価可能な情報に基づき、アセスメントを行っている。
3) 「患者の状況・生活習慣などが考慮されている。」 客観的な情報だけでなく、患者の状況・生活習慣などが考慮されているか。				1 努力を要する	患者個々の事情(状況、生活習慣、社会的環境)を全く考慮していない。
				2 もう少し	患者個々の事情(状況、生活習慣、社会的環境)を収集し検討しようとしている。
				3 認定薬剤師に求めるレベル	患者個々の事情(状況、生活習慣、社会的環境)を収集し、問題への影響の有無を検討している。
				4 専門認定薬剤師に求めるレベル	患者個々の事情(状況、生活習慣、社会的環境)を収集し、問題への影響の程度を、具体的に評価し検討している。
4) 「患者の訴え、不安、思い、希望などが考慮されている。」 客観的な情報だけでなく、患者の訴え、不安、思い、希望などを考慮し、患者にとってメリットが得られる検討を行っているか。				1 努力を要する	患者の訴え、不安、思い、希望などは全く考慮されていない。
				2 もう少し	患者の訴え、不安、思い、希望などを考慮しているが、主観的である。
				3 認定薬剤師に求めるレベル	患者の訴え、不安、思い、希望などを、客観的に評価し、患者がよりメリットを得られるように検討を行おうと努力がみられる。
				4 専門認定薬剤師に求めるレベル	患者の訴え、不安、思い、希望などを、客観的に評価し、患者がよりメリットを得られるよう、様々な視点から検討を行う努力がみられる。
5) 「医師の処方意図を理解し、考慮できている。」 客観的な情報だけでなく、医師の治療方針や処方意図を理解し、考慮できているか。				1 努力を要する	医師の処方意図は全く理解しようとしていない。
				2 もう少し	医師の処方意図を理解しようとする努力しているが、主観的な考察に終始する。
				3 認定薬剤師に求めるレベル	医師の処方意図を理解しようとする情報収集等に努力し、アプローチを試みている。
				4 専門認定薬剤師に求めるレベル	医師の処方意図を理解しようとするアプローチするとともに、客観的情報とのギャップに対する考察が加えられている。